

1. ヒット・エラーの判定の方法

判定はバックネットの判定員が赤白の旗をあげる方法で行います。

※判定員は基本的に審判部より選出しますが試合日程や諸事情により一部の試合ではクリーン少年野球連盟理事以上が判定員となる場合があります。 判定：白旗：ヒット 赤旗：エラー

2. 専用のスコア記録用紙の使用（記入例は別紙のとおり）

自チーム分スコアは、昨年同様江戸川連盟で作成している2枚複写のものを使用し、1枚を提出してください。また、相手チーム分は、市販スコアブックに記入してください。

※自チーム分スコアは、江戸川連盟で作成している2枚複写のものに直接記入してください。

3. 相手チームの守備面で目立った選手のスコア用紙へ記載（H20年より採用）

目的：ゴールドクラブ賞の守備面での参考データとして集計します。

相手チームの守備面で目立った選手を自チーム内で協議し決定する。特に人数は決めないが1～3名程度が望ましい。

ファインプレーだけでなく凡プレーなどマックス面の選手も評価の対象とする。（H21年度から採用）

提出する2枚複写のスコア用紙に守備面で目立った選手の名前・背番号・コメント(理由)を余白に記入する。

4. 二塁手のエラーがなくライト線に打球が飛んでバッターが1塁に生きた場合はヒットとして記録する。

※右翼手や一塁手のエラー・ファumbleもエラーを記録せず1塁へはヒットを記録する。

※通常の守備プレーで捕球出来るライトフライを落球した場合は通常通りのエラーの判定（記録）を行う。

5. ホームランの場合、エラーがないか判定員の判定を確認しホームランを記録する。

リーグ戦におけるスコア記入及び処理の手順について【参考】

- ① 試合前にメンバー表(3枚複写)を作成する。
- ② 規定の受付時間までにU面バックネット裏の当日の担当(各チーム代表、運営部が順番で勤める)へメンバー表を持参し、選手のチェックを受ける。
- ③ 試合開始整列前、メンバー表の1枚を手元に残し、キャプテンにその他2枚を渡す。
- ④ 試合の経過、成績は、自チーム分を江戸川連盟専用の2枚複写のスコア用紙に、相手チーム分を市販のスコアブックに記録する。**(主審が最初にコールする「プレイ！」が試合開始時間です。)**
- ⑤ バックネットの判定員の判定に基づきヒット、エラー、ホームラン等をスコア用紙、に記載する。
- ⑥ 試合終了後、直ちに両チームの選手の打撃成績(打席数—打数—安打数、犠打・四死球、ホームラン数)をスコア用紙右側に記入する。
- ⑦ 「相手チームの守備面で目立った選手のスコア用紙へ記載」を行う。
- ⑧ その後、自チーム2枚複写のスコア用紙を持ってバックネット裏に行き、審判の欄に主審のサインをもらう。
- ⑨ 相手チームスコアラーとスコア用紙、スコアブックにより両チームの選手の打撃成績と上記3の「相手チームの守備面で目立った選手のスコア用紙へ記載」を確認する。
- ⑩ 確認後、相手チームの2枚複写のスコア用紙にスコア内容を確認しサインをする。
- ⑪ サインの終わった自チームの2枚複写スコアブックの1枚(白い紙)を記録部・小池へ提出する。

小池が不在のときは、U面バックネット裏の連盟関係者にお渡しください。

受け取った連盟関係者はバックに入れてください。後日小池が回収します

※全試合終了後、各チームスコアラー会議にて打撃、守備や投手成績の確認をし、打撃ベスト10などのデータを作成します。その成績をもとに、後日連盟の表彰・選考委員会が開かれ各賞が決定します。

※リーグ戦以外の公式戦、地区外大会、派遣試合の記録方法について

- ① 試合終了後、得点経過、試合経過概要を記録用紙に記入する。
- ② 記録用紙を記録部小池へ提出する。

※ 記録は、広報部・ナイスキャッチへの掲載を依頼しますので、早めに提出お願いします。

※ 提出は、FAX：3636-8535 やメール：hqe02724@nifty.ne.jp でも結構です。